

4月7日は、「世界保健デー」です!!

世界保健機関（World Health Organization：WHO）が制定。国際デーの一つで、英語表記は「World Health Day」。

1948年（昭和23年）4月7日、WHOが設立されました。本部はスイス・ジュネーヴ。

この国際デーは、WHOの発足を記念したものです。



世界保健デー



WHOは、世界保健機関憲章によって設立された国連の専門機関で、WHOの活動は「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的としています。

その目的のために、**伝染病の撲滅や公衆衛生の向上、麻薬取り扱いに関する規制の確立、エイズ問題への取り組み**など様々な活動を行っています。

毎年、国際保健に関する重要性の高いテーマを掲げ、この日を中心に、世界各国でそのテーマに沿った様々なイベントが実施されています。

WHO憲章では、「健康とは完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。**到達しうる最高基準の健康を享有することは、人種、宗教、政治的信念又は経済的若しくは社会的条件の差別なしに万人の有する基本的権利の一つである。**」と記載しています。



世界保健デーは、WHO の設立を記念するとともに、**国際保健**に関する重要性の高いテーマに世界規模の注意を喚起する機会と捉えられています。

2023年のテーマは、「**Health for All** **すべての人に健康を!**」です。

Health For All は、平和で豊かな、そして持続可能な世界において、すべての人々が充実した生活を送るために健康を手に入れることを想定されています。健康を享受する権利は、基本的人権です。誰もが経済的な困難なしに、必要な時に必要な場所で、必要な健康サービスを受けられるようにしなければなりません。

ちなみに、2016年のテーマは「糖尿病に負けるな」でした。

糖尿病は、**非感染性疾患**であり、十分に予防・治療可能であるにもかかわらず、多くの国（特に**開発途上国**）で急激に増加しています。**標準体重**を維持する、定期的に身体活動を行う、健康的な食生活を行うなど、生活様式を質素にすることは**2型糖尿病**の予防や発病遅延に効果があります。

2023年4月7日
福岡ワンヘルス協議会・事務局